

青色防犯灯で安全・安心のまちに

～ 複 合 的 な 防 犯 対 策 に よ る 犯 罪 抑 止 ～

所属：奈良県警察本部生活安全企画課

発表者名：宮本勝弘

1. はじめに

奈良県では、平成17年6月から、色彩効果に着目した全国初の試みとして、青色防犯灯による犯罪抑止対策を導入している。

青色防犯灯導入の経緯、取り組みの状況及び複合的な防犯対策との関連による設置後の効果等について、以下述べる。

2. 犯罪情勢と犯罪抑止対策

(1) 犯罪情勢

奈良県の刑法犯認知件数が平成14年に32,017件と戦後最多を記録したことから、以後、犯罪抑止総合対策を進めた結果、平成18年に18,895件まで減少し、4年間で41.0%、13,112件の犯罪を減少させることができた。

(2) 犯罪抑止総合対策

「検挙に勝る防犯なし」から、「犯罪抑止」に力点を置いた警察の対策に加え、①効果継続型②住民主導型③環境整備型を柱とした、県民一人ひとりの自主防犯活動の推進と各自治体や事業所等にも積極的な防犯活動を求め、「安全やまとまちづくり県民会議」を設置するなど、官民一体の犯罪抑止総合対策を行った。

3. 取り組みの経緯

奈良県警察では、平成17年5月、「英国北部スコットランドの都市グラスゴーで、平成12年、街路灯をオレンジ色から青色に変えたところ犯罪が減少する副次効果が現れた」という、青色防犯灯導入に繋がる情報を得た。色彩の心理効果については、カラーセラピストで心理カウンセラーの元永しずか氏から、「青色には、人の副交感神経に作用して落ち着かせる鎮静効果と、心理的に人を冷静にさせる傾向がある。また、「プルキニエ現象」から、青色は赤色やオレンジ色の光に比較して夜間は明るく浮き出て、遠目が効き見通しがいい。犯罪者に「人目をさげたい」という心理が働くことなどから、犯罪の抑止効果が期待できる。」という意見や資料提供を受け、従来防犯には明るい照明という考えとは視点を変えた、青色という色彩の心理的作用に着目した防犯灯の導入という犯罪抑止対策の検討を開始した。

4. 取り組みの状況

(1) 場所の選定と働きかけ

自治会防犯リーダー直原利夫氏を中心に自主防犯意識が高く、自主防犯活動が活発な奈良市秋篠台住宅地を選定し働きかけた結果、理解と協力を得ることが出来、既設防犯灯を青色のコンパクト型蛍光灯(36W)に照明機器業者の協力を得て無償交換され、平成17年6月23日の夕刻、秋篠台住宅内に全国で初めて犯罪防止のための青色防犯灯7基が設置点灯された。

(2) 青色防犯灯試行に当たっての基本的な考え方

青色の効果測定・検証するため、場所や数を考慮する。青色防犯灯の設置には、①街頭犯罪の発生地又は発生が予想される地域や場所②青色の鎮静効果を得る空間の確保③防犯意識が高いか理解のある地域④防犯環境の整備地又は整備予定地⑤管理や監視の目があるか管理対策を予定している地域を条件として、現状の対策にプラスした複合的防犯対策と認識して設置することと

した。

(3) 試験実施地域の住民の意見

秋篠台自治会の設置後のアンケートでは、大多数の人は、「綺麗」「清潔」「涼しそう」と感じ、反面「変な色」「寂しそう」「寒々としている」と感じた意見もあった。数ヶ月後では、「心が落ち着く」「不快感はなくなってきた」「庭の奥の方まで光が届く」との意見が多く概ね好評であるが、生理的に青色を受け入れられないという少数意見もある。

(4) 設置状況

県内の青色防犯灯は、本年9月30日現在、県内11市9町3村、38箇所の住宅地、道路、駐輪場等の86カ所に2,566基設置され、設置に当たっては、自治会や市町村などの承諾を得ている。全国的にも、当県に続き、広島、静岡、東京、群馬、沖縄、大阪等各都府県で設置されている。

(5) 専門家との出会いと連携

青色防犯灯による犯罪抑止対策を検討していた奈良県警察では、平成17年10月、奈良女子大学生生活環境学部井上容子教授、日本防犯設備協会防犯照明委員会須谷修治特別委員等の専門家の方々と意見交換等したことにより、その後の秋篠台現地での現地研究会及び近畿管区警察局等主催の青色防犯灯の試行に伴う防犯研修会の開催に結びついた。

さらに、奈良県警察では、平成18年度から、社団法人照明学会関西支部防犯照明の見え方に関する研究委員会の専門家等により実施されている「青色防犯灯の犯罪抑止効果に関する実証研究」にオブザーバーとして参加、協力している。

(6) 他府県等からの問い合わせ・意見と社会的反響

百聞は一見に如かず・・・と、全国の自治体、議会、企業、研究者、専門家等の現地視察が相次いでいる。

5. 設置2年後の効果等（平成19年8月7日公表分）

(1) 犯罪減少

設置箇所における刑法犯（街頭犯罪）の発生について、1年対比が可能な35箇所（住宅地9、公営駐輪場13、街路を含む道路7、私企業の駐車場1、公営の駐車場1、遊戯施設の駐車場3、公的施設の駐車場1）を選定し、それぞれ設置1年の前後について検証した結果、終日で14.9%、夜間で8.8%減少したことが判明した。

※ 県下の全刑法犯の減少率（前年対比）は「H17中(-10.8%)、H18中(-11.6%)」

(2) 複合的防犯施策との関係

上記35の検証箇所中、増減のあった24箇所について、防犯啓発活動、自主防犯パトロール活動（青色防犯パトロールを含む）、防犯啓発看板等の設置、及び防犯カメラの設置等の複合施策を実施している箇所と実施していない箇所について検証したところ、複合施策と犯罪の減少との関連が高いことが明らかとなった。

	複 合 施 策 あり	複 合 施 策 なし	計
犯 罪 減 少 箇 所	10	4	14
犯 罪 増 加 箇 所	5	5	10
計	15	9	24

(3) 今後の対応

設置箇所における犯罪発生状況、防犯環境の整備、効果の検証を引き続き実施予定である。

6. その他

現在、奈良県警察ホームページでは、犯罪抑止対策として導入した青色防犯灯等を紹介している。